教科目名　校外実習　(Factory Training)

学科名・学年　：機械工学科　４年
単位数など　：選択　１単位
担当教官　：機械工学科主任

授業の概要	
校外実習を行う国若しくは地方公共団体の機関又は企業等の実習機関での就業体験（インターンシップ）を通して，専門分野での自分の知識を確かめ，さらに発展させると同時に，与えられた問題に対してプロジェクトで解決する手法について習得する．また，社会が要求する技術者像を掴んで自分の今後の学習に生かすことや，社会人，職業人としての基本的な心構えについても学ぶ．	
到達目標	**大分高専目標（D2），JABEE 目標(d2c)(d2d)(h)**
(1) プロジェクトによる体験を通して，問題を解決する手段や方法を理解する． (2) 自分の専門分野が実務のどの部分に貢献できるのかを明確にする． (3) 社会から期待される技術者像・人物像を的確に把握し，その心構えが出来ること．	

回	授業項目	内容
		以下は校外実習のスケジュールと内容の概略であり，校外実習の詳細およびそのとり決めについては，学生便覧中に記載の「大分工業高等専門学校における校外実習，課題学修及び特別学修に関する細則」を参照すること．
	１．ガイダンス	５月に学級担任または学科主任より校外実習についてのガイダンスを実施．
	２．実習派遣先の調整	学級担任による派遣企業の確認，他科との調整等が行われる．
	３．実習先の決定	学級担任を通じて，学科主任に申し込み（所定様式「校外実習願」）を行う．派遣決定までのその後のステップについては，上記の細則に従う．
	４．実習	原則夏季休業期間中の派遣とし，実習期間は１日を６時間と換算し，５日間（３０時間）以上とする．
	５．校外実習報告書の提出	実習後，所定のフォーマットにて各自報告書をまとめ，科主任に期限日までに提出する．
	６．実習報告会の開催	実習の内容や成果などについて発表し，質疑応答を行う．

履修上の注意	実習派遣先は，インターンシップ学生を厚意で引き受けていただいているので，様々な場面で迷惑を掛けることの無いように細心の注意をすること．企業その他で得た技術的な情報，その他の情報については，その守秘義務が発生していることを理解し，決して外部に漏らすことが無いように努めること．社会人としての常識をいつも考えて行動するなどの心構えが必要である．校外実習の詳細については，学生便覧の「大分工業高等専門学校における校外実習，課題学修及び特別学修に関する細則」を参照すること．
教科書	なし
参考図書	担当教官と相談の上，各自で必要なものを探す
関連科目	卒業研究，工学実験Ⅰ，工学実験Ⅱ，工学実験Ⅲ
評価方法	実習機関からの「校外実習証明書」，本人の「校外実習報告書」および前期末に実施の実習報告会を総合して評価する．